



第6回 大学スポーツ協会作業部会

平成30年11月5日(月)

10:00～14:00

開会

本日の作業部会の進め方

本日の作業部会の進め方

11月19日の第3回設立準備委員会に付議する各テーマの制度案に関する決議を予定しています

時間	時間配分	発表者		議題
10:00～	10分	事務局		・ 本日の作業部会の進め方
10:10～	5分	テーマ3	友添主査	・ 成績管理・対策、さらなる動機付け
10:15～	15分	質疑応答(主査)・決議		
10:30～	5分	テーマ4	藤本主査	・ キャリア支援
10:35～	15分	質疑応答(主査)・決議		
10:50～	5分	テーマ5	川原主査	・ 事故情報の集約化
10:55～	15分	質疑応答(主査)・決議		
11:10～	5分	テーマ7	戸田主査	・ ガバナンス体制、ハラスメントや暴力等に関する相談・対応体制の構築
11:15～	15分	質疑応答(主査)・決議		
11:30～	5分	テーマ8	佐藤主査	・ 指導者研修
11:35～	15分	質疑応答(主査)・決議		
11:50～	10分	質疑応答(作業部会員)		
12:00～	10分	休憩		
12:10～	5分	テーマ9	池田(純)主査	・ 大会レギュレーションの整備
12:15～	15分	質疑応答(主査)・決議		
12:30～	5分	テーマ10	境田主査	・ 個別データの管理・活用
12:35～	15分	質疑応答(主査)・決議		
12:50～	5分	テーマ11	小林(至)主査	・ シェアードサービスの提供
12:55～	15分	質疑応答(主査)・決議		
13:10～	5分	テーマ12	佐野主査	・ 大学SA支援、マーケティング・会計ルールに関するガイドライン整備
13:15～	15分	質疑応答(主査)・決議		
13:30～	10分	質疑応答(作業部会員)		
13:40～	5分	テーマ2	三好主査代理	・ 学修機会確保 (第5回作業部会からの更新内容の共有)
13:45～	10分	会議全体を通じた質疑応答(主査・作業部会員)		
13:55～14:00	5分	事務局		・ 事務連絡

議事 各テーマの制度案について

テーマ3

成績管理・対策、さらなる動機付け

早稲田大学 スポーツ科学学術院

友添 秀則 氏

テーマ

【学業充実】 成績管理・対策、さらなる動機付け

制度案の概要	<ul style="list-style-type: none"> ① 成績管理・対策⇒学生の本分である学修を疎かにしないよう、対外試合に出場できる成績基準を設けて管理・制限していく。基準に満たない学生に対してはUNIVAS後援のもとに、大学主導の学修支援・対策を講じて成績を伸ばしていく。また様々な救済措置を設けることで学生の多様な選択を尊重できる制度とする。 ② さらなる動機付け⇒競技成績並びに学業成績が秀でている学生はUNIVASの目指すべき学生として称え、さらなる活動の充実のための動機付けとして主にUNIVASが学生を懸賞する制度とする。
担当部署	学業充実委員会／顕彰・表彰委員会
開始時期	<ul style="list-style-type: none"> ①2023年度より適用(2022年3月までは実証期間として加盟大学・学連の協力を得ながら基準案や運用規程を定める。) ②2019年度より適用
加盟に伴う 依頼事項及 び推奨事項 の内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 適用対象: 大学／学連 依頼事項 大学:(1)運動部学生の成績集約及び基準に基づくチェック体制の構築(*復帰判定含む) (2)成績によって制限を課すこと等の承諾手続き体制の構築 (3)勧告該当学生への学業指導体制の構築 学連:(1)基準を満たさない学生の試合出場停止措置(*復帰措置含む) ② 適用対象: 大学／学連 依頼事項 大学:(1)表彰候補学生のGPA等、基準となる情報の提供 学連:(1)表彰候補学生の競技成績やベンチ所属などの情報提供
各大学 各学連 への 影響	<ul style="list-style-type: none"> a. 運動部学生への勉学・学修への意欲付け(①②) b. 学業についていけない学生へ指導体制を整備することで、留年・退学者等の減少(①) c. 学業に励み優れた学修能力を得て、競技を通じて人格形成やリーダーシップなどを体得した卓越した人材の輩出(①②)

テーマ

【学業充実】①成績管理・対策

制度概要

前提条件

- ◆学業基準(成績)は実証期間を終えた、2023年度の入学生から対象とし、年次進行とする。
- ◆対象とする部活は、大学の代表権を有する部活とし、サークル等は除く。
- ◆成績を外部へ提供する事、成績に応じて試合出場に制限がかかる事など大学・学生等関係者間のコンセンサス(学内規則等)を得る。
- ◆単位修得者一覧名簿を部長名で作成した後に、大学(教務部等)の承認を得て提出する。(*詳細なプロセスは各大学へ一任)
- ◆UNIVASへ学業成績を提出する「成績取り扱い部署(AD局相当、学生課など)」の要件等は、各大学に一任する。
- ◆学業基準に違反した者に対する対処(処罰)については個人(連帯責任ではない)が負うものとする。基準に満たない者の対応・指導は、各大学が行う。(*UNIVASの収益規模に応じてUNIVASによる学業支援サービス提供の可否は今後検討する。)

今後の検討方針

- 今年度策定した成績基準案並びに運用規程(フロー)が現実に運用可能か否かに耐えうるかどうかを2022年3月までの間に実証事業と位置付けて仮運用を行う
- 仮運用にて検証する項目(目的)は以下の通り
 1. 策定した学業基準が適切かの確認(単位基準の妥当性を確認するため、基準を仮に設定した場合何人程度該当するか。)
 2. 多様な学生のための学業基準のパターンはどの程度必要かの確認。(怪我、国際競技会への出場、競技留学などへの対応)
 3. 学連の試合日程や出場登録へのプロセスと成績基準を適応させるスケジュールが合致するか(複数競技・複数大学で検証)
 4. 基準に満たない者の復帰措置の検討、意思決定プロセスの詳細規則(米国NCAAの判例分析等)
 5. 基準に満たない者が試合に出場してしまった場合の措置など、考えられ得るケースへの対応(米国NCAAの判例分析等)

テーマ

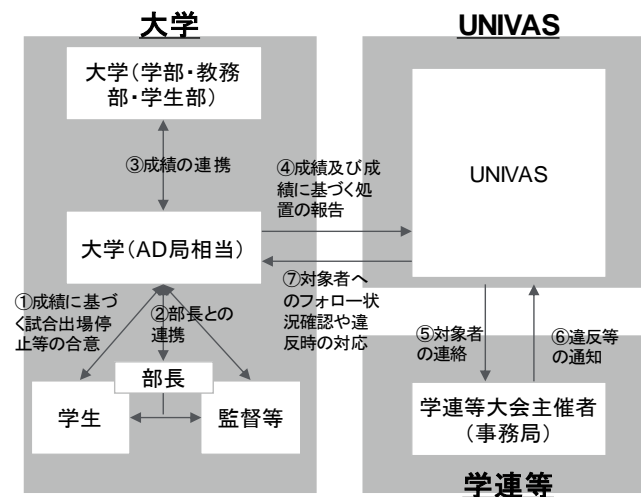
【学業充実】①成績管理・対策

制度概要

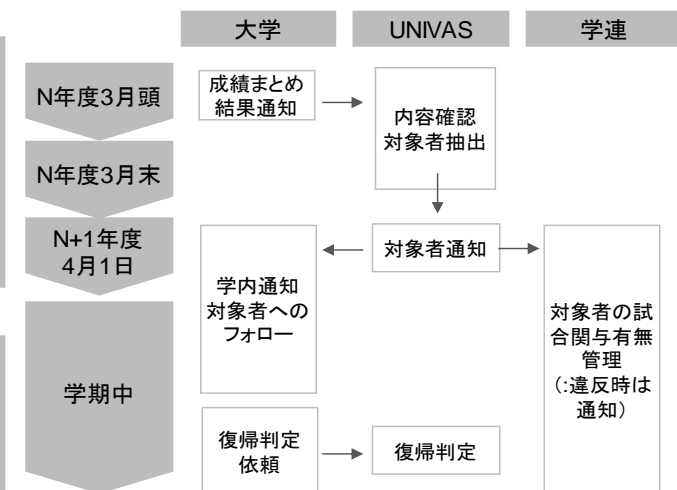
運用規程の概要(業務フロー)

- ・各年の3月に大学で成績を集約し、基準に満たない者を特定し、UNIVASへ情報を提供する
- ・UNIVASは4月1日までに情報を確認し、基準に満たない者並びに措置内容を確定させ学連・大学へ周知する(*基準・措置の案は次項)
- ・大学は基準に満たない者と共に学修計画を立案し、UNIVASへ計画を提示する。計画通り学修し、UNIVAS・大学間で合意が得られた場合は復帰とする(*原則、復帰タイミングはいつでも良いこととする)
- ・学連などは基準に満たない者が試合に出場しないことの管理を行うが、基準に満たない者が試合出場していることが判明した場合は遅滞なくUNIVAS・関連大学へ報告し、対処策の検討委員会を開き措置を決定する(*審議中の試合出場可否の方針などは今後要検討)

学業基準管理フロー案(相関図)



学業基準管理フロー案(年次表)



テーマ

【学業充実】①成績管理・対策

制度概要

成績基準案概要

- 成績基準は、大学二年次相当から適用する
 - 二年次は基準に5単位満たないものは注意勧告とし、それ以下の者は対外試合への出場を認めない(出場停止)
 - 三年次/四年次は基準に10単位満たないものは注意勧告とし、それ以下の者は対外試合への出場を認めない(出場停止)
 - 注意勧告とは、試合出場は可能だが、大学並びに対象者は学修計画策定とその経過をUNIVASへ報告することを義務付ける
 - 出場停止の場合は、対象者の対外試合への参加を認めず、学修計画とその結果(成績等のエビデンス)を提出することを義務付ける。
 - 出場停止から復帰するためには、上記学修計画策定とその結果(成績等のエビデンス)を基に関係者で合議し、復帰可否を判断する。
 - 復帰可能な時期については原則復帰基準が揃ったタイミングかつ合議で判断されればいつでも可能とする。
- (*報告フォーマット、報告内容、復帰基準は今後要検討)
- 怪我や競技留学など特別な事由の場合の単位基準(例:5年プラン)や特別な事情と認める基準は今後要検討

	取得すべき単位数 (基準)	勧告対象となる取 得単位数	出場停止となる取 得単位数
2年開始時	25単位	24~20単位	19単位以下
3年開始時	60単位	59~50単位	49単位以下
4年開始時	90単位	89~80単位	79単位以下

テーマ

【学業充実】 ②さらなる動機付け

制度概要

前提条件・目的

- 学業と競技の両立が実施できている学生の活動の更なる充実のための動機付けとして顕彰制度を設ける。
- 顕彰制度は、スポーツを通じた人材育成の役割が期待される中で、優れた功績を残した学生アスリートやチームを評価し、社会へ発信・認知して貰うことを目的としている。
- 競技成績が優れているものを対象とする表彰制度に加えて、学業とスポーツの双方において優れているものを対象とする表彰制度を設けることとする。
- 原則、表彰者(主体)はUNIVASで、受賞者は学生個人若しくはチーム・団体を想定している。但し、表彰の種類に応じて表彰実施を各競技会主催者へ委託・委任する場合もある。(*委託・委任の場合、表彰に関わる諸費用はUNIVASが負担するものとする)
- 表彰の対象とする競技会は原則加盟している学連が主催するものとするが、学連主催の大会の内どの程度までを範囲とすべきかは討議の上決定する(例:加盟大学の参加比率によって対象外とする。フレンドシップカップのような親睦試合は除外する。等)

⇒テーマ9にて表彰対象とする要件を整理中

表彰の種類

表彰は、次の通りとする。

⇒テーマ9にてパラスポーツ・女性アスリートへ特化した表彰を検討中

➤ Sportsperson of the Year

競技成績を基準に「優れた競技成績」を修めたチーム及び個人について表彰する。チーム(団体)を表彰する場合はベンチ入り選手も表彰対象とする。

➤ Best Scholar Athlete Award

「優れた競技成績」に加えて、「学業成績」の基準を設け、学業及び競技の双方において、他の学生アスリートの模範となるものについて表彰する。

テーマ

【学業充実】 ②さらなる動機付け

制度概要

表彰基準

➤ **Sportsperson of the Year**の表彰基準

競技成績が下記の要件を満たすもの。

➤ **Best Scholar-Athlete Award**の表彰基準

競技成績が下記の要件を満たし、学業成績が「GPAO.O以上かつ所属学部等での成績が上位10%以内」のもので、所属大学の学長から推薦をされたもの。（*GPAの具体的な数値は今後の検討とする）

競技会の規模	該当する大会例	表彰主体者	表彰対象者	
			優勝等	ベスト8以上
世界大会相当	オリンピック・世界選手権・ユニバーシアード等	UNIVAS	スポーツ庁 長官特別賞	スポーツ庁 長官特別賞
全国大会相当	インカレ・全日本選手権等	UNIVAS	スポーツ庁 長官賞優秀賞	優秀賞
地区大会相当	地区ブロック大会等	UNIVAS 及び地区ブロック競技会主催者	優良賞	—

※パラリンピックは学連があればそのまま同基準を適用し、学連がない場合は検討対象とする。

⇒テーマ9にて表彰対象とする要件を整理中

テーマ

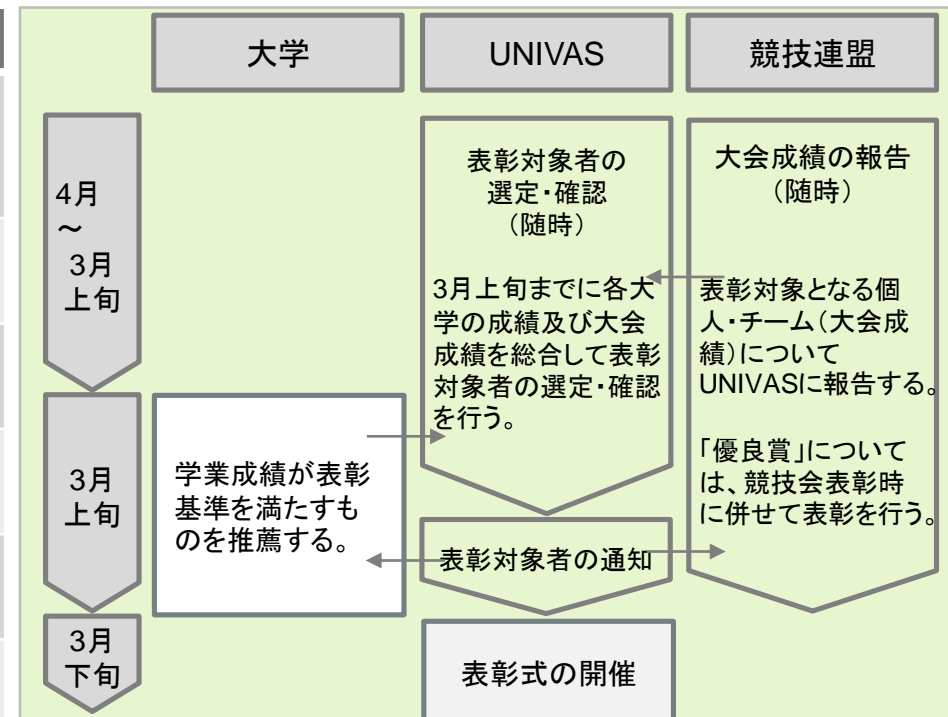
【学業充実】 ②さらなる動機付け

制度概要

表彰の時期及び内容

- 原則として、該当年の3月下旬(*4年生が卒業する前)に競技成績と学業成績を加味した表彰式を開催する。但し地方大会等については、学連への表彰委託などを検討し、各競技会の表彰時に合わせて対応する
- 表彰内容について、UNIVAS設立当初は記念盾や賞状等を基本とするが、事業規模に応じて奨学金等への拡大も検討する

表彰の種類	表彰時期	表彰内容
スポーツ庁長官特別賞	3月下旬を目処にUNIVASによる表彰式を実施する	記念楯、賞状
スポーツ庁長官賞	〃	記念楯、賞状
優秀アスリート賞(優秀賞)	〃	記念メダル、賞状
優秀スカラアスリート賞(優秀賞)	〃	記念メダル、賞状
優秀アスリート賞(優良賞)	各競技会における表彰時に併せて行う	賞状
優秀スカラアスリート賞(優良賞)	〃	賞状



⇒テーマ9にてプロスポーツのイベント時期と突合中

テーマ

【学業充実】 ②さらなる動機付け

制度概要

今後の検討方針

- 今年度策定した表彰案を次年度より実行していくため、表彰実施要項を策定していく
- 実施要項を策定していく上で今後の論点は以下の通り
 1. 表彰を行う競技会の範囲をどの様に設定するか。
 2. チーム(団体競技)を表彰する際に、表彰対象者をどの様に設定するか。
 3. UNIVASが主催する表彰式はどの様に行うか。表彰内容も含めた、費用・規模をどの程度に設定するか。
 4. 学業成績基準としてGPAを活用することについて承認を得ること。
 5. GPAの係数が異なる場合及びGPAを採用していない大学に対しての取り扱いについて。
 6. GPAの活用の際して、基準をどの程度に設定するか。
 7. 連続して表彰対象となったものについては「特別賞」のような表彰を別に設けるか。
 8. 評価者を誰にするか。(表彰委員会での検討)

質疑応答(主査)・決議

テーマ4 キャリア支援

大阪体育大学 体育学部 教授
藤本 淳也 氏

テーマ

【学業充実】 キャリア支援

<p>制度案の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学生アスリートの「デュアルキャリア支援」の担当部署を明確にして、担当者を配置する →「JSCキャリアデザインアドバイザー育成研修」の受講生を配置することが望ましい ① 学生アスリートのキャリア教育機会の確保→ キャリア講習の実施と参加しやすいシステムの構築 ② 指導者セミナーの実施→ 「JSCデュアルキャリア教育プログラム(指導者向け)」の実施が望ましい ③ UNIVASと学生アスリート保護者への報告・情報提供(キャリア支援活動報告。学生アスリートの就職率情報ほか)
<p>担当部署</p>	<p>キャリア支援部会(学業充実委員会)</p>
<p>開始時期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①2019年から随時実施 / ②2019年から随時実施 ③2019年から随時実施 / ④2019年度に2018年度の情報を提供し、以後は年次報告を行う。
<p>加盟に伴う 依頼事項及び 推奨事項の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 適用対象： 大学 要求事項： 2022年3月までに完了。以後、毎年担当者名を報告する。 ② 適用対象： 大学 要求事項： 2022年3月までに実施。以後、年次活動報告をする。 ③ 適用対象： 大学 要求事項： 2022年3月までに実施。以後、年次活動(主に指導者への情報提供)報告をする。 ※①②③の2022年度以後加盟はその年度内実施計画を提出することを要件とする。 ④ 適用対象： 大学 要求事項： 2019年度に2018年度の情報を提供し、以後は年次情報の報告を行う
<p>各大学 各学連 への 影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① スポーツキャリア教育、デュアルキャリア支援を理解し、効果的なプログラムを展開する人材が育成・確保できる。 ② 学生アスリート対象のキャリア教育機会が確保され、デュアルキャリア支援が推進できる。 ③ 指導者のデュアルキャリアの理解と支援が推進できる。 ④ UNIVASをハブとした会員大学との情報共有ができる。キャリア教育への保護者の支援が期待できる。

テーマ 【学業充実】 キャリア支援

参考資料

	(n=69)
キャリアセンターや就職支援センターがある	64大学 (92.8%)
運動部員のためのキャリア支援に取り組んでいる	31大学 (44.9%)

<具体的な取り組み事例>

- 要望別各クラブへの出張セミナーを実施。事前に要望をヒアリングし、クラブごとに説明会を開催している。
- 体育会主将会議において、企業から就職セミナー等の案内を受ける機会を設け、情報提供を行っている。
- 就職センターと連携し、スポーツ学生対象に企業説明会や公務員講座を実施している。
- 運動部員対象に就職ガイダンス年度に3回、合同企業セミナー1回(体育会学生の採用意欲が高い企業対象)、クラブごとに個別ガイダンス実施している。
- 体育会学生を支援する担当の専任職員を配置している。
- 運動部の就職に特化した業者と提携してセミナー等を開催し支援している。
- 体育会学生用に体育会系学生のための就職活動(就活)支援サイトを紹介し、合同説明会でも直接情報が得られるよう案内しています。
- 体育会連合組織OB・OG会による就職セミナーが開催されている。“体育会所属の学生を対象とした就職セミナーを実施。
- ほか

テーマ

【学業充実】 キャリア支援 ステークホルダーとその役割の整理

参考資料

短期的目標：システム構築のための情報収集と共有

- キャリア支援担当者の配置
- 入学前・後の学習支援の学習支援の実施
- 学業成績、競技実績、進路等の情報管理
- 指導者対象のセミナーの実施
- UNIVASおよび会員大学との情報共有

連携構築

- 学生アスリート担当者の配置
- デュアルキャリア支援プログラムの構築
- 学生アスリートを対象としたキャリアセミナーの開催等
- 学生アスリートの卒業後サポートの構築
- 保護者対象のセミナー・情報提供の実施

中長期的目標：各大学独自及びUNIVASのシステム構築

- 指導者セミナーへの参加
- 「JSCデュアルキャリア教育プログラム(指導者向け)」の受講
- 学生アスリートの学業機会確保及びキャリア形成の支援
- 学生アスリートのキャリア関連情報の共有

- UNIVASと連携するキャリア支援関連企業の情報提供
- 企業インターンシップ情報の提供
- 学生アスリート対象求人情報の提供
- 地域社会連携、ボランティア、留学プログラムへ参加機会の提供



*大阪体育大学提供資料を基に作成

テーマ

【学業充実】 キャリア支援 「JSCデュアルキャリア教育プログラム」との連携

参考資料

デュアルキャリア教育プログラム
アスリート向け

氏名 _____

JAPAN SPORT COUNCIL
日本スポーツ振興センター

アスリートキャリアアドバイザー

平成29年度スポーツ庁委託事業 スポーツキャリアサポート推進戦略
アスリートキャリアアドバイザー育成研修プログラム

	時間	区分	科目	講師	概要
第1回 1/17(土) 研修室1	13:00-14:10	共通	オリエンテーション	パシフィック	自己紹介と理解促進、本プログラムの意義や構成、進め方の説明。
	14:20-15:30	共通	アスリートキャリアアドバイザーの役割	田中 ウルヴェ 京 (09/20)	アスリートキャリアアドバイザーとしての心構え、役割や責任、活動範囲の広さについて。
	15:40-16:00	共通	職業観確立	田中 ウルヴェ 京 (09/20)	アスリートキャリアアドバイザーとしての価値観や意識。
第2回 1/20(土) 研修室1 4名別研修	-	-	フロンティア企業説明プログラム 職業説明	藤原 基(ASO)	フロンティア企業説明プログラムの意義や進め方。
	-	-	デュアルキャリア	野口 雄平(JSC)	デュアルキャリアに関する政策的な背景や留意点の取り組み、アスリートがデュアルキャリアを実現する上で必要な認識とその広がりについて。
	9:30-17:00	-	適合研修の組み方	松村 雄策 (JSC) 入道 日本フロンティア (JSC) 協会	参加者のニーズやレベルに応じた研修の企画。
	-	-	フロンティア企業説明	松村 雄策 (JSC) 入道 日本フロンティア (JSC) 協会	フロンティア企業説明する上で必要な留意点や進め方。
第3回 1/27(土) 研修室1 4名別研修	-	-	デュアルキャリア教育プログラム チームの活用	藤原 基(JSC)	デュアルキャリア教育プログラムの活用方法。
	-	-	フロンティア企業説明(演習) アスリート向け1	シニアアドバイザー	チームを活用した演習やロールプレイング。
	9:30-17:00	-	フロンティア企業説明(演習) 指導者・保護者向け	シニアアドバイザー	チームを活用した演習やロールプレイング。
第4回 2/3(土) 特別研修室	9:30-10:40	専門 基礎	ハイパフォーマンススポーツ	佐藤 春彦(JSC)	パフォーマンス向上に関するスポーツ医学・理学療法、栄養学・栄養学等について。
	10:50-12:00	専門 基礎	キャリア理論	田中 実(法政大)	キャリア理論を軸にした生涯や実践的応用について。
	12:10-14:10	専門 基礎	キャリア実践	田中 実(法政大)	キャリア実践における基本的な実践方法や進め方。
第5回 2/10(土) 研修室1	9:30-10:40	専門 基礎	フロンティア企業説明(演習) 同	シニアアドバイザー	アスリートに特化した企業説明(実践的演習)とその実践性。
	10:50-12:00	専門 基礎	職業観確立	野口 雄平(JSC)	日本の労働市場や雇用形態、アスリートの雇用や転職。
第6回 2/17(土) 研修室1	9:30-10:40	専門 基礎	キャリア実践	野口 雄平(JSC)	キャリア実践における基本的な実践方法や進め方。
	10:50-12:00	専門 基礎	心育(心理学)基礎	武田 大輔(筑大)	キャリア実践と心育の関わりや実践的応用の重要性。
第7回 2/24(土) 研修室1	9:30-10:40	専門 基礎	キャリア実践	野口 雄平(JSC)	キャリア実践における基本的な実践方法や進め方。
	10:50-12:00	専門 基礎	キャリア実践(演習)	田中 実(法政大)	キャリア実践における実践的応用の重要性。
第8回 3/3(土) 研修室1	9:30-10:40	専門 基礎	キャリア実践(演習)	田中 実(法政大)	キャリア実践における実践的応用の重要性。
	10:50-12:00	専門 基礎	キャリア実践(演習)	田中 実(法政大)	キャリア実践における実践的応用の重要性。
第9回 3/17(土) 研修室1	9:30-10:40	専門 基礎	キャリア実践(演習)	田中 実(法政大)	キャリア実践における実践的応用の重要性。
	10:50-12:00	専門 基礎	キャリア実践(演習)	田中 実(法政大)	キャリア実践における実践的応用の重要性。

※終了時刻は、多少前後する場合があります。

デュアルキャリア教育プログラム
指導者向け

氏名 _____

JAPAN SPORT COUNCIL
日本スポーツ振興センター

テーマ

【学業充実】 キャリア支援 「JSCスポーツキャリア推進戦略」との連携①

参考資料

スポーツキャリアサポート事業のこれまでの経緯について

平成26年度 (2014)	<p>文部科学省委託事業「スポーツキャリア形成支援体制の整備に関する実証研究」</p> <p>スポーツキャリア形成支援の考え方、対象領域とその範囲及び各分野が担う役割</p> <p>一体的・一元的支援体制構築に向けたコーディネート機関の設置と必要な機能の整備</p> <p>スポーツキャリアアドバイザー（仮称）育成プログラム（資質・能力、プログラム内容、展開スキーム）に関して、方向性を提示。</p>
平成27年度 (2015)	<p>文部科学省委託事業「スポーツキャリアサポート推進戦略」（3カ年単年度契約）</p> <p>トップアスリートが安心してスポーツに専念できるよう、デュアルキャリア教育と引退後のキャリア形成の両面から一元的に支援することを趣旨とし、以下を目的に事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 一元的な支援実施体制の構築及びアドバイザーの育成 アスリートのデュアルキャリアに関する意識改革プログラム開発 職業能力育成研修及び成功モデルの提示や情報の一元化
平成28年度 (2016)	<p>スポーツ庁委託事業「スポーツキャリアサポート推進戦略」（3カ年単年度契約）</p> <p>二年目となる当該事業は、スポーツ庁の要項に則り、以下の構成で推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係団体と連携し効果的にアスリートのキャリア形成を支援する体制構築 デュアルキャリア教育システムの構築 アスリートの中・長期的なキャリア形成に関わる調査の実施
平成29年度 (2017)	<p>スポーツ庁委託事業「スポーツキャリアサポート推進戦略」（3カ年単年度契約）</p> <p>最終年度となる当該事業は、スポーツ庁の要項に則り、以下の構成で推進予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係団体との連携及び効果的に支援する体制の構築・運営 デュアルキャリア意識改革プラン

スポーツキャリアサポートコンソーシアムの設置

コンソーシアム設置会議（H27-28年度）にて、一元的な支援体制の在り方に関して協議を重ね、H29年2月2日のアスリート・キャリア・トーク・ジャパン2017にて「スポーツキャリアサポートコンソーシアム」の創設式を行った。創設時は、スポーツ団体・教育機関・民間企業等から11団体が加盟し、H29年度よりその拡大・強化するための準備（広報ツール作成、ホームページからの申請手続きが可能な仕組みの構築等）を完了した。

JAPAN SPORT COUNCIL

各会員団体でのスポーツキャリアに関する取り組み

※平成29年度新規加盟団体を除く

全国体育系大学 学長・学部長会	(公財) 全国大学 体育連合	(公財) 全日本柔道連盟	(公財) 全日本スキー連盟	(公財) 日本アンチ・ ドーピング機構
<ul style="list-style-type: none"> キャリアアドバイザー/就職相談窓口 施設 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアアドバイザー/就職相談窓口 施設 	<ul style="list-style-type: none"> デュアルキャリア教育プログラム 		<ul style="list-style-type: none"> アンチ・ドーピング教育プログラム
(公財) 日本 オリンピック委員会	(公財) 日本剣がい昔 スポーツ協会	(公財) 日本スポーツ協会	(公財) 日本体操協会	(一社) 日本トップリーグ 運営機構
<ul style="list-style-type: none"> キャリアアカデミー アスナビ、アスナビネクスト エリートアカデミー ナショナルコーチアカデミー NF・NTC ネットワーク 	<ul style="list-style-type: none"> NFネットワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者養成プログラム 		<ul style="list-style-type: none"> アスリートに対する調査及び教育プログラムの開発・実施
(公財) 日本フェンシング協会	(株) フューチャー・ デザイン・ラボ	(株) 日本スポーツ振興センター		
	<ul style="list-style-type: none"> 人材マッチングシステム 人材育成プログラム キャリアアドバイザー 	<ul style="list-style-type: none"> 選手・指導者研さん活動助成 アスリートライフスタイル 女性アスリート支援事業 HIP 競技人材育成支援事業 デュアルキャリア教育プログラム ファシリテーター養成プログラム アドバイザー育成プログラム 		

JAPAN SPORT COUNCIL

テーマ 【学業充実】 キャリア支援 「JSCスポーツキャリア推進戦略」との連携②

参考資料

H30スポーツキャリアサポート推進戦略事業

スポーツキャリアサポートコンソーシアム
 スポーツ統括団体代表者
 教育機関代表者
 民間企業代表者等

事業管理・運営、コンソーシアム事務局

中央フォーラム

アドバイザー育成
関連

デュアルキャリア
教育、
ファシリテーター
育成プログラム

情報総合
ポータルサイト

JAPAN SPORT COUNCIL

コンソーシアムをなぜ作るのか？

法人

- 日本オリンピック委員会
- 日本障がい者スポーツ協会
- 日本スポーツ協会
- 日本トップリーグ連携機構
- 日本アンチ・ドーピング機構
- 日本スポーツ振興センター
- 全日本柔道連盟
- 全日本スキー連盟
- 日本体協協会
- 日本フェンシング協会
- 日本健康スポーツ連盟
- フットボールクラブ水戸ホーリーホック

教育機関

- 全国体育系大学学長・学部長幹事校
- 公益社団法人全国大学体育連合
- 山梨学院大学

民間企業

- フューチャー・デザイン・ラボ

解決

①情報共有

②マッチング

③専門人材の育成・選流

④プログラムの開発・提供

⑤情報収集・蓄積

⑥イベント・総会の開催

一定の成果・ナレッジをコンソーシアムで蓄積

JAPAN SPORT COUNCIL

質疑応答(主査)・決議

テーマ5 事故情報の集約化

日本臨床スポーツ医学会 理事長
川原 貴 氏

テーマ 【安全安心・医科学】 事故情報の集約化

制度案の概要

- ① 事故情報把握の促進
- ② 保険データから事故の集計、分析、情報の提供
- ③ スポーツ障害予防研究のコーディネート
- ④ 保険加入の推奨、新たな保険の検討

担当部署

安全安心委員会

開始時期

①④2019年4月 ②③2020年4月以降

加盟に伴う
依頼事項及び
推奨事項の
内容

- ① 適用対象： 大学、学連、地区学連
依頼事項： 重大事故の把握と報告

各大学
各学連
への
影響

- ① 大学、学連として傘下にある運動部に対して重大事故の報告を義務づける
- ② 事故データの集計、分析情報を事故予防に活用する
- ③ スポーツ事故予防研究への協力、研究結果の活用
- ④ 大学、学連として傘下にある運動部に対して保険加入を推奨する

質疑応答(主査)・決議

テーマ7

ガバナンス体制の構築、ハラスメント
や暴力等に関する相談・対応体制
の構築

日本安全教育学会 理事

戸田 芳雄 氏

テーマ

【安全安心・医科学】ガバナンス体制の構築、ハラスメントや暴力等に関する相談・対応体制の構築

制度案の概要

- ① 相談窓口の設置
→詳細は、添付資料(次頁)ご参照
- ② コンプライアンスガイドライン
→詳細は次回作業部会にてご報告

担当部署

規律委員会

開始時期

- ①は平成31年4月1日より運用開始

加盟に伴う依頼事項及び推奨事項の内容

- ① 適用対象： 大学、学連(NF)、地区学連
依頼事項： UNIVASに寄せられた相談案件のうち、被害者もしくは加害者となっている学生が所属する大学もしくは学連等は、自らが問題解決の主体となり、事実確認、問題解決、経過報告等を実施しなければならない

各大学各学連への影響

- ① UNIVASの相談窓口が構築されることで、大学や学連には相談しにくかった学生の相談先を確保することができます。他方で、既に相談窓口が開設されている大学・学連については、UNIVASの相談窓口との連携方法を確認する必要があり、相談窓口に類似する機関をもっていない大学・学連については、問題解決のための特別な組織を(相談があった場合に)臨時に組成していただく必要があります。

テーマ

【安全安心・医科学】 ガバナンス体制の構築、ハラスメントや暴力等に関する相談・対応体制の構築

制度概要

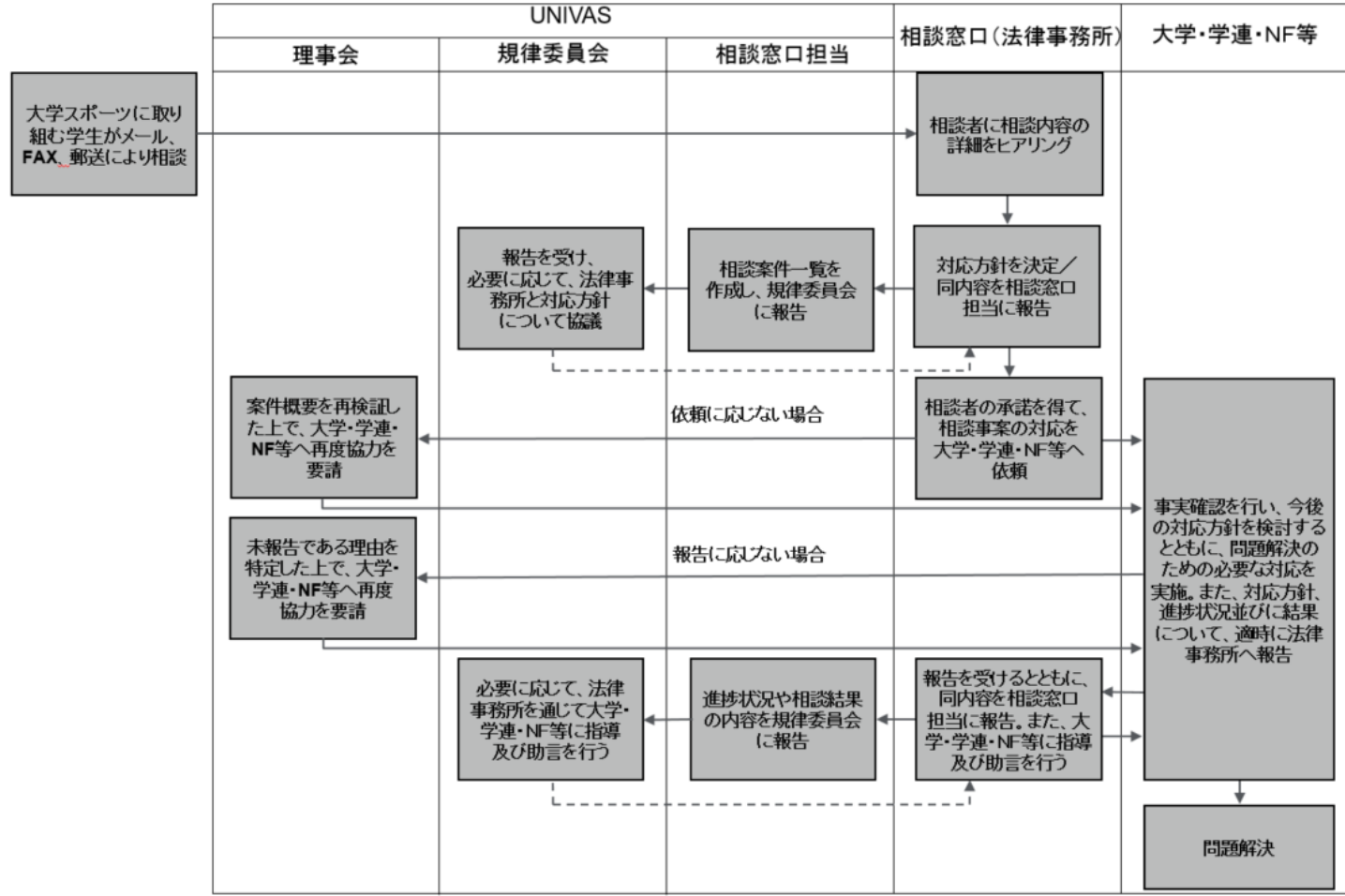
UNIVASにおける相談窓口の基本コンセプト

対象者	大学の運動部に所属する学生
対象事案	暴力・体罰、ハラスメント、いじめ、不適切な会計等
受付方法	メール、FAX、郵送(フォーマットが必要、迅速・的確な処理のため匿名は対象外)
相談窓口運営	法律的な判断・対応が求められるため、法律事務所等に委託
相談件数	月12~13件、年150件を想定(他の団体等の窓口業務実績から試算)

テーマ 【安全安心・医科学】 ガバナンス体制の構築、ハラスメントや暴力等に関する相談・対応体制の構築

制度概要

UNIVASにおける相談窓口のフロー(イメージ)



質疑応答(主査)・決議

テーマ8

指導者研修

筑波大学 アスレチックデパートメント
スポーツ・アドミニストレーター

佐藤 壮二郎 氏

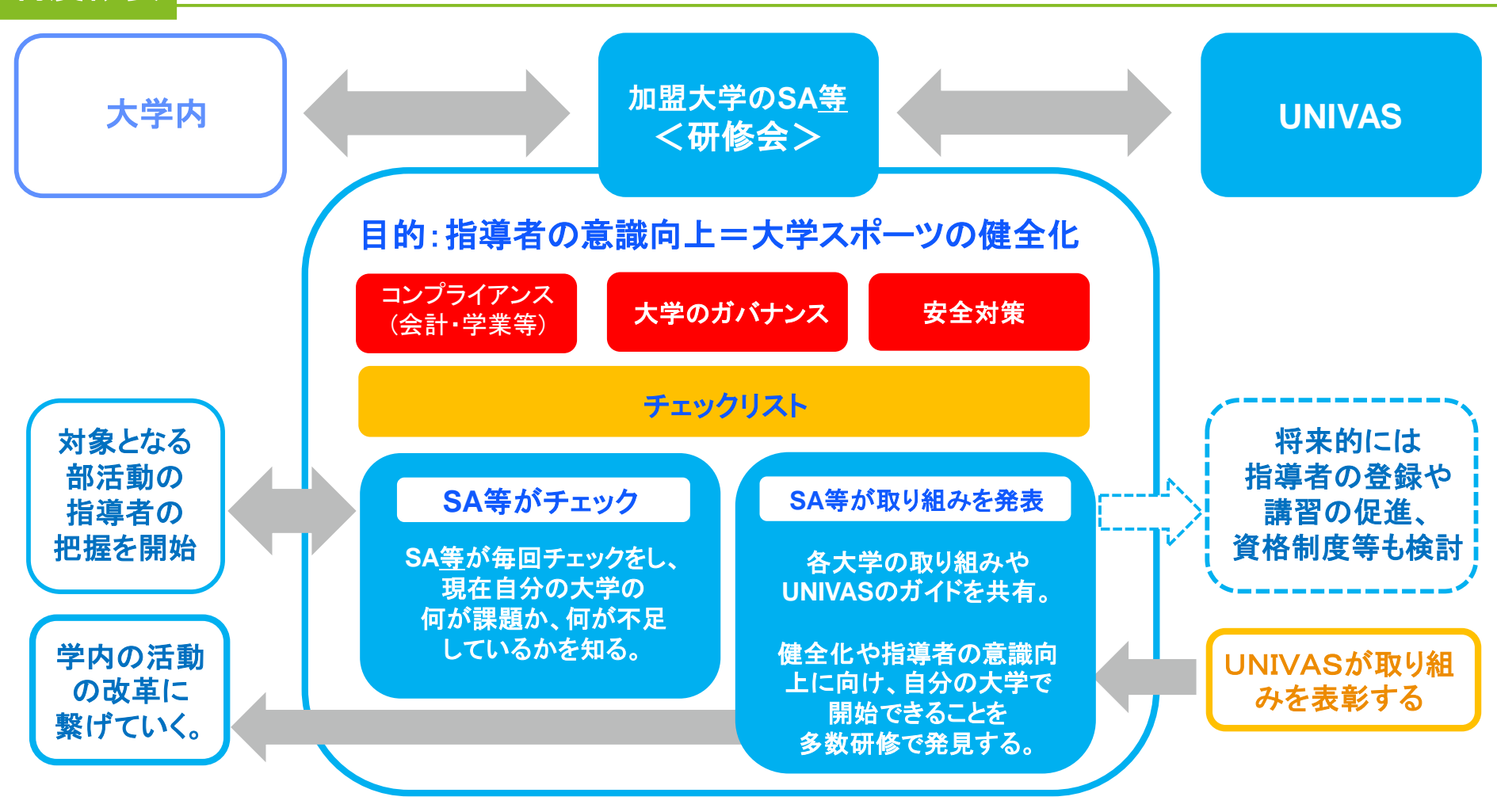
テーマ

【安全安心・医科学】 指導者研修

<p>制度案の概要</p>	<p>① 大学(スポーツ局)が学内の指導者に対し、どのような意識向上の取り組みを行えば良いのか。チェックリストと共に加盟大学が学内の課題を確認し、様々な大学の取り組みを共有し合うことで、学内の活動および指導の健全化を目指す。</p> <p>② 大学(スポーツ局)が指導者の契約状態や名簿を整理するところから開始する。将来的にUNIVASに登録をするシステムを構築し、登録者に対して定期的な情報発信や講習会の促進、資格制度等を準備することも検討する。</p>
<p>担当部署</p>	<p>指導者研修委員会</p>
<p>開始時期</p>	<p>① 2019年度から運用開始／②2020年度以降に検討予定</p>
<p>加盟に伴う 依頼事項及 び推奨事項 の内容</p>	<p>① 適用対象： 大学 依頼事項： UNIVASの研修会にスポーツ局の責任者等が出席し、学内の取り組みを共有すること</p> <p>② 適用対象： 大学 依頼事項： スポーツ局が管轄する部に対して、指導者の契約状態や名簿を把握、整理すること</p>
<p>各大学 各学連 への 影響</p>	<p>① 大学のスポーツ局を起点とした「部活動の健全化」について方法論や実現プロセスを理解できる。</p> <p>② 大学間のコミュニケーションを頻繁に行うことができる。</p> <p>③ 大学として「健全な運営」を推進していることを社会に発信することができる。</p>

テーマ 【安全安心・医科学】 指導者研修

制度概要



質疑応答(主査)・決議

質疑応答(作業部会員)

休憩

テーマ9

大会レギュレーションの整備

スポーツ庁 参与

池田 純

テーマ

【事業・マーケティング】 大会レギュレーションの整備

制度案の概要

- ① 表彰制度
→ UNIVAS設立当初から実施する表彰制度案の整備
- ② 大会
→ 競技横断的の大学対抗戦のレギュレーション案(開催基準要項)の整備

担当部署

表彰委員会(特別委員会)、大会運営部会(事業運営委員会)

開始時期

①、②ともに平成31年度より開始(平成31年度はトライアルでの実施)

加盟に伴う
依頼事項及び
推奨事項の
内容

- ① なし ※学業関連の表彰制度に関しては「テーマ3」にて検討
- ② 適用対象: 学連
依頼事項:
 - ・競技横断的の大学対抗戦のポイント配分の基準となる加盟大学数や競技者数等の情報提供
 - ・競技横断的の大学対抗戦のポイント付与対象となる競技・大会に係る競技成績に関する情報提供

各大学
各学連
への
影響

- ・ 表彰制度や大会を通じて、大学のブランディング、競技の普及を後押しすることが可能
- ・ また、これらを通じて、大学スポーツの活性化・振興に寄与することが可能

テーマ

【事業・マーケティング】 大会レギュレーションの整備

制度概要

※「資料3」ご参照

質疑応答(主査)・決議

テーマ10

個別データの管理・活用

東京大学 理事
境田 正樹 氏

テーマ

【事業・マーケティング】 個別データの管理・活用

制度案の概要

- ① 大学内に研究支援センターを設置
→ 詳細は添付資料参照

担当部署

リサーチ・コーディネーション・センター(事業運営委員会)

開始時期

- ①2019年4月より設置可能な大学は研究支援センターを設置する。

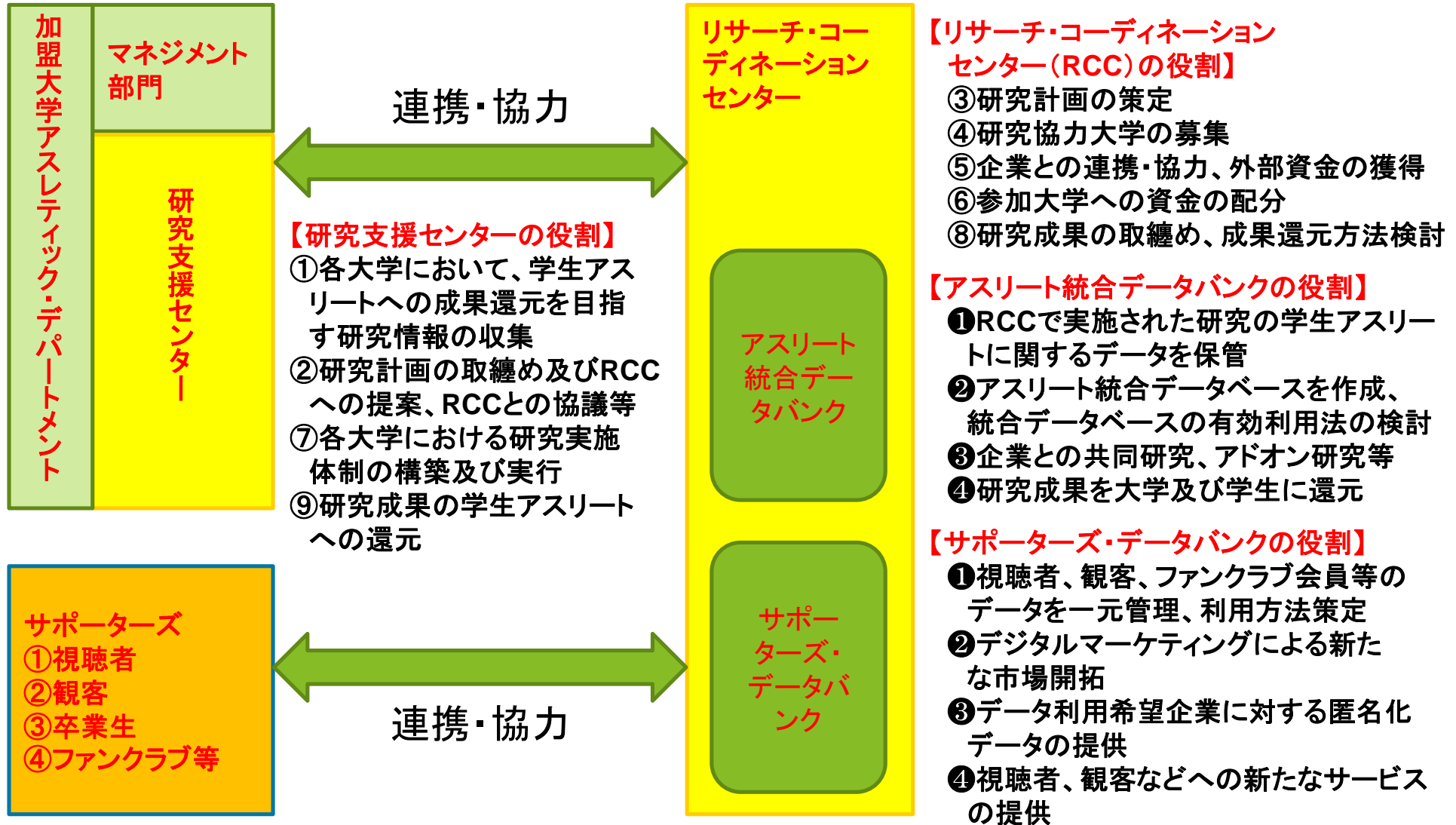
加盟に伴う
依頼事項及び
推奨事項の
内容

- ① 適用対象: 参加大学
依頼事項: 各大学は、研究支援センターを設置する。研究支援センターは具体的に次の業務を行う。
①各大学において、学生アスリートへの成果還元を目指す研究情報を収集
②各大学の研究計画を取纏め、UNIVASリサーチコーディネーションセンターと研究計画について協議
③研究実施体制の構築と研究の実施
④研究成果の学生アスリートへの還元、各大学における学生アスリートに関するデータを適切に管理。

各大学
各学連
への
影響

- ① 研究支援センターは、スポーツに関する様々な研究成果を学生アスリートに還元することを目指す。具体的には、研究支援センターは、所属大学の学生アスリートに対して、怪我・事故予防のサポート、フィットネスサポート、競技力向上サポート、体力強化サポート、体調管理サポートを行うことを目指す。各大学においては、スポーツに関する研究を促進・支援し、外部資金の獲得等も目指す。

日本版NCAA構想における個別データの管理・活用(案)



質疑応答(主査)・決議

テーマ11

シェアードサービスの提供

江戸川大学 社会学部経営社会学科 教授
小林 至 氏

テーマ

【事業・マーケティング】 シェアードサービスの提供

今回の作業部会までに作業・検討した内容

- ① 映像配信事業・HP制作の開設準備を委託する業者の選定
- ② 「事業マーケティング」の他のテーマとシェアードサービスの連携の必要性についての確認
- ③ 上記、映像配信事業を行う上で、既存の各学連の映像配信に関する取り組みの調査
- ④ 来春の映像配信開始に向けたスケジュールの策定及び、テスト配信の検討

上記検討の中で明らかとなった論点又は課題

- ① 映像配信事業者との綿密な計画づくり 各学連との正式な映像配信に関する調整(権利処理の方法について: 配信料購入型、共同事業型、配信協力型など)が必要であることを確認
- ② 映像配信を行うコストの算出と捻出についての考え方の整理が必要

他テーマへの申し送り事項

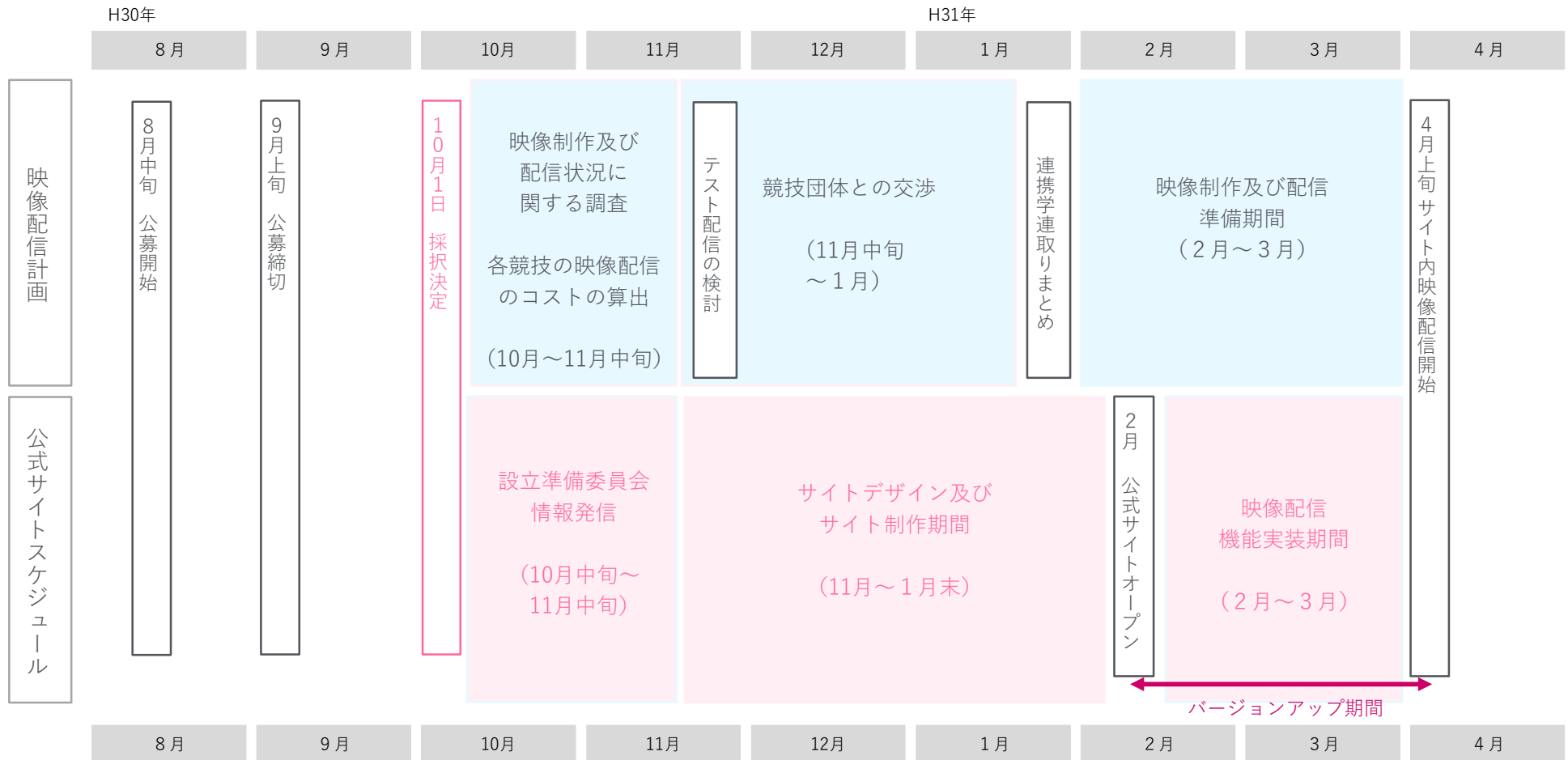
- ① 「事業・マーケティング」に限らず、対内、対外ともに、多くのサービスが、シェアード・サービス(サイバー空間)を介して行うことが出来ることと、利用者にとって、サイバー空間を活用することで、利便性の向上および費用削減に寄与することが出来ることについて、確認をしたい。

次回の作業部会における報告事項(予定)

- ① シェアードサービスの核となる映像配信事業に関するサービスの概要とメリットについて報告する。
- ② 可能であれば、どのような競技、大会の映像配信をしていくかの予定についても発表する。
- ③ サイト運営および配信に伴うコストの算出と、その費用の捻出についての考え方の整理。

スケジュールについて

来春の映像配信開始に向けて、
11月から各学連との交渉を開始。
交渉に先立ち、テスト配信の実施も検討中。



テスト配信について

今後、各学連と話を進めていく上で、
指標となるテスト配信にしていく予定。

以下の2つのパターンを検討中。

※公式HP立上げ前なので、スポーツ庁HP及びSPORTS BULL上での配信を検討

他の学連への指標ともなりえる競技

大学スポーツの中でも注目率が高く、他の学連へ対して指標となりやすい競技。

候補① 野球 明治神宮野球大会

<候補試合>

- ・日程：2018年11月8日～14日
- ・主催：明治神宮・（公財）日本学生野球協会
- ・場所：明治神宮野球場
- ・決勝：2018年11月14日（水）12時00分～
- ・既存配信：skyA、SPORTS BULL

候補② サッカー 全日本大学サッカー選手権大会

<候補試合> ※昨年参考データ

- ・日程：2017年12月13日～24日
- ・主催：日本サッカー協会、全日本大学サッカー連盟
- ・場所：浦和駒場スタジアム
- ・決勝：2017年12月24日（日）11時55分～
- ・既存配信：ジェイネットTV、BS朝日（決勝）

候補③ バスケ 全日本大学バスケットボール選手権大会

<候補試合> ※昨年参考データ

- ・日程：（男）2017年11月20日～26日（女）11月28日～12月3日
- ・主催：日本バスケットボール協会、全日本大学バスケットボール連盟
- ・場所：（男）青山学院大学青山キャンパス（女）カメイアリーナ仙台
- ・決勝：（男）11月26日14時00分～（女）12月3日14時00分
- ・既存配信：J-SPORTS、ジェイネットTV

ライブ配信の効果がわかりやすい競技

今まで、テレビ局などでの中継の機会は少ないため、ライブ配信の取り組みによる学生のモチベーション変化などが図りやすい競技。

候補① ラクロス 全日本ラクロス大学選手権

<候補試合>

- ・日程：2018年11月4日～25日
- ・主催：日本ラクロス協会
- ・場所：駒沢オリンピック公園 総合運動場 陸上競技場
- ・決勝：2018年11月25日（日）調整中
- ・既存配信：なし

候補② ハンドボール 全日本学生ハンドボール選手権大会

<候補試合>

- ・日程：2018年11月10日～14日
- ・主催：日本ハンドボール協会、全日本学生ハンドボール連盟
- ・場所：丸善インテックアリーナ大阪
- ・決勝：2018年11月14日（水）
- ・既存配信：ジェイネットTV

候補③ テニス 全日本学生室内テニス選手権大会

<候補試合>

- ・日程：2018年11月25日～12月2日
- ・主催：全日本学生テニス連盟
- ・場所：江坂テニスセンター
- ・決勝：2018年12月2日（日）
- ・既存配信：なし

質疑応答(主査)・決議

テーマ12

大学SA支援、マーケティング・会計
ルールに関するガイドライン整備

日本体育大学 スポーツアドミニストレーター
佐野 昌行 氏

テーマ

【事業・マーケティング】 大学SA支援、マーケティング・会計ルールに関するガイドライン整備

制度案の概要

- ① UNIVAS加盟大学が、大学内に備えるべき機能、果たすべき役割
→UNIVASとの窓口の設置、ガバナンスの強化、学業の充実及び安全安心への取組、スポーツ資源の有効活用等
- ② 「大学アスレチックデパートメント(AD)局及びスポーツ・アドミニストレーター(SA)配置に関する手引書」の作成
→ UNIVAS加盟大学が、学内体制を整備する際に活用していただくための手引書 ※「資料4」ご参照

担当部署

総合推進委員会 等

開始時期

①2019年4月以降、順次機能を拡大・役割を充実／②2019年2月発行予定、各大学内で順次整備

加盟に伴う
依頼事項及び
推奨事項の
内容

- ① 適用対象： 大学
要求事項： UNIVASとの間で情報等のやりとりをする窓口(担当者)を設定すること(2019年4月時点)
順次、大学スポーツ振興に向けた機能・役割を充実させていくこと
- ② 適用対象： 大学
要求事項： 手引書を参考にして学内体制の整備に努めること
手引書を参考にして大学スポーツ振興に向けた機能・役割の充実を図ること

各大学
各学連
への
影響

- ① 大学のスポーツへの積極的な関与により、事故を防止し透明性の高い部活動運営が実現される。
- ② 手引書を参照することで、各大学の実状に合わせた組織整備を行うことができるようになる。また、各大学内で実施すべき事柄や備えるべき機能、果たすべき役割が明確になり、大学スポーツの推進に向けた体制の構築が促進される。

テーマ

【事業・マーケティング】 大学SA支援、マーケティング・会計ルールに関するガイドライン整備

制度概要

「大学スポーツ振興に向けた学内整備のための手引書」目次案

はじめに
第1章 AD局の必要性
1 AD局とは
2 AD局設置による効果
第2章 AD局の役割
1 学内スポーツのガバナンス
1) ガバナンス体制の構築
2) UNIVASとの連携
3) 指導者の人事
4) 指導者の資質・能力・意識向上
5) 会計の透明性確保
6) 危機管理体制の構築
2 学業の充実
1) 入学前からの学修への動機づけ
2) 学修機会の確保
3) 成績の管理と対策
4) 在学中の学業への動機づけ
5) キャリア支援
3 安全・安心な環境の整備
1) 事故情報の集約
2) 事故発生時の対応体制の構築
3) 保険への加入の促進
4) ハラスメントや暴力に関する相談・対応体制の明確化
5) 医師・コメディカル及び医療機関との連携
6) 研究コーディネーター

4 事業・マーケティング
1) 情報の集約と広報
2) 学生の経済的負担の軽減
3) 企業等外部団体との連携
4) ブランディング
5) 地域連携・社会貢献活動
第3章 AD局の組織整備
1 AD局の設置
1) 設置形態
2) 運営規則等
3) 組織図・組織内担当部課等
4) 配置人材(職域と人数)
2 SAの配置
1) 職域と人数
2) 職域のメリットとデメリット
3) 求められる資質や能力

質疑応答(主査)・決議

質疑応答(作業部会員)

テーマ2

学修機会確保

(第5回作業部会からの更新内容)

武庫川女子スポーツセンター

三好 雅之 氏 (代理)

テーマ

【学業充実】学修機会確保

制度案の概要

- ① 学修機会確保の取り組み
→授業日の公式試合開催をさけるために、大学と学連との間に入り、大会日程調整をする。また、授業を欠席した場合の補習を求める。
- ② 指導者セミナー → 指導者倫理(コーチング哲学)と学業・アスリート教育の重要性に関する研修
- ③ **指導者ライセンス → 資格取得支援及び指導者プロフィールの開示**

担当部署

学業充実委員会(仮)

開始時期

- ① 大学 (1)2019年4月1日以降に順次提出、(2)2022年4月1日を目標に整備
学連 (1)2019年4月1日以降に順次提出、(2)2019年4月1日以降に順次調整、(3)推奨事項であるため、実施できる学連から順次対応
- ② 2019年4月1日以降に順次開催
- ③ **大学 (1) 資格取得(推奨)、(2)2019年4月1日以降に公表開始(推奨) 学連 (1)2020年4月1日以降2023年4月1日段階的に設定**

加盟に伴う 依頼事項の 内容

- ① 依頼事項: 大学:(1)学事日程の提出、(2)欠席した場合には補習するなどの単位制度を実質化するための学内制度の整備
学連:(1)大会日程の提出、(2)学事日程と大会日程の調整(3)参加証明書の発行(推奨事項)
- ② 依頼事項: 学内でのセミナー実施
- ③ **依頼事項: 大学: (1)UNIVAS指導者資格の取得(推奨)、(2)HPで指導者のプロフィール公表(推奨)
学連:(1)全国大会・地区大会・全ての大会の出場要件としてUNIVAS公認指導者の設定**

各大学 各学連 への 影響

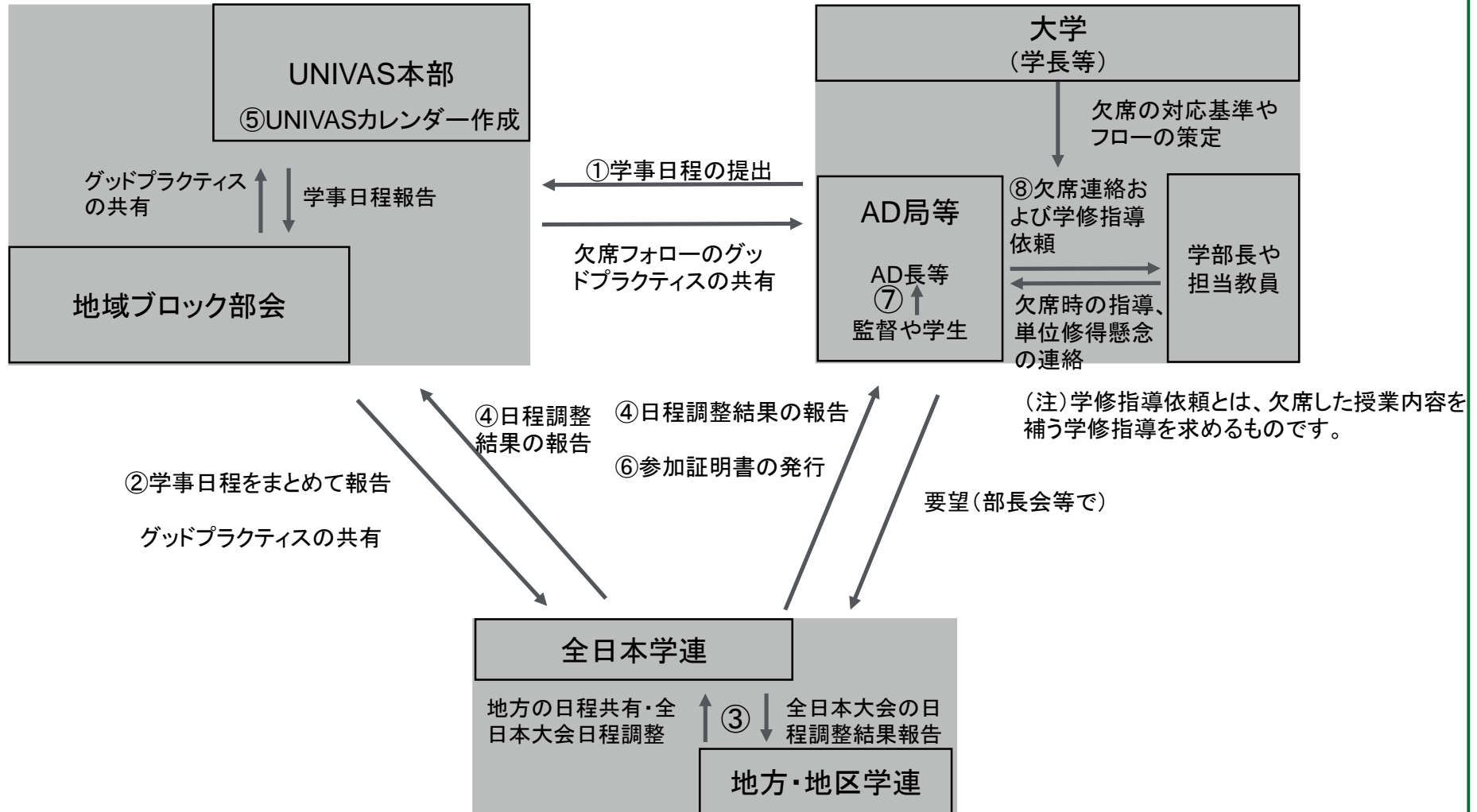
- ① 大学にとっては、授業を優先して大会日程を編成してもらえる可能性が高くなる。また、単位制度の実質化に向けて学内制度を整備できる。学連にとっては、大学の学事日程を一括して入手できる。学生が持っている「欠席による学業への不安」を軽減できる。
- ② 指導者へのコンプライアンス教育が徹底できる。学業との両立への理解が得られる。

テーマ

【学業充実】学修機会確保① 日程調整

制度概要

＜会員大学の学事日程を考慮したり、平日開催を避けるために、日程調整を行う。＞



テーマ

【学業充実】学修機会確保① 日程調整

制度概要

UNIVASカレンダー(4月～翌年3月)の概要

Championship Event	Date	Facility	City	State
2018-19 DII Men's Lacrosse Semi-Finals	05/19/2018-05/19/2018	(TBD - 2 sites)	(TBD)	(TBD)
2018-19 DIII Baseball Super Regionals	05/24/2018-05/26/2018	(TBD - 8 sites)	(TBD)	(TBD)
2018-19 DII Men's Lacrosse Finals	05/25/2018-05/27/2018	Lincoln Financial Field	Philadelphia	PA
2018-19 DII Women's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Women's Volleyball Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DI Women's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DI Field Hockey Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Women's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DI Field Hockey Selection Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Field Hockey Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Men's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DII Men's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Field Hockey Selection Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DI Women's Soccer Selection Date	11/05/2018-11/05/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DII Men's Soccer Selection Date	11/05/2018-11/05/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)

・Web版様式: UNIVASウェブサイト運営会社と協議

・内容: UNIVAS加盟学連の主な大会日程及びUNIVASの主な行事日程

例: 米国NCAAのWebスケジュール検索画面



- ・印刷版様式: A2判かB3判
- ・写真: 加盟大学・学連提供
- ・内容: Web版同様
- ・発行部数: 未定
- ・スポンサーによる協賛金

イメージ: UNIVASの印刷版カレンダー

テーマ

【学業充実】学修機会確保② 指導者セミナー

制度概要

指導者セミナー案

セミナー対象者

大学経営層
(理事長や学長など)

- UNIVAS総会を立ち上げ期と中間期等を開催し、大学に求める事や学修機会に対する理解を求めるシンポジウムを開催
- ⑩UNIVASの理念とビジョン

AD局、監督

- 地域ブロック毎にUNIVAS本部が回り、研修会を開催する。
- ⑩UNIVASの理念とビジョン
- 学業充実(①入学前教育、②学修機会確保、③学業基準、④キャリア支援)
- ⑥安全安心、⑧指導者制度、⑫大学SA支援・マーケティング・会計ルール

AD局スタッフ
コーチなど

- 大学内での周知徹底(⑩～④、⑥、⑧、⑫など)
- ○時間講習を義務づけ、実施報告(参加者数と率)を求める。

テーマ

【学業充実】学修機会確保② 指導者セミナー

制度概要

指導者セミナーの研修内容案

(作業部会⑧で検討しているAD局長などを対象に行う指導者研修の内容の一部)

1. 指導者倫理(コーチング哲学)(90分)

①責任と危機管理

事例(事故や暴力)紹介、
学生指導(危険防止教育)の重要性
(アンガーマネジメント?)

②コーチング哲学・信念

グッドコーチに向けた「7つの提言」を
もとにグループディスカッション

③フェアプレイ

フェアプレイ宣言(JSPO)をもとに
グループディスカッション
署名を勧める。
学生にも勧めてもらう。



2. 学業・アスリート教育の重要性(90分)

①単位制度の厳格化

授業時間数確保(補講、予復習)
欠席時の学修指導の必要性
入学前教育

②デュアルキャリア支援の必要性

JSC「スポーツキャリア総合ポータル」
をもとにグループディスカッション



③人間教育・スポーツマンシップ教育

大学や学連の事例をもとにグループ
ディスカッション

テーマ

【学業充実】学修機会確保③ 指導者ライセンス

制度概要

指導者の確保と資質能力向上の必要性

現在の課題	大学 (n=645)	日本学連 (n=38)	地区学連 (n=62)
指導者不足	41.4%	71.1%	66.1%

出典：スポーツ庁「大学スポーツの振興に関するアンケート」
(2017年2月～4月実施、645大学・100学連回答)

資格取得支援・指導者の養成

資格取得講習会を大学で開催することを推奨する。
(公開講座、教員免許状更新講習、授業科目)

テーマ

【学業充実】学修機会確保③ 指導者ライセンス

制度概要

大学の現状

- ・各運動部の指導者の競技歴、指導実績、指導上必要な資格等を把握している 59.4%
- ・把握の方法は、採用や契約更新時の履歴書など。毎年、成果報告などと合わせて確認している大学もある。
- ・指導者のプロフィールをホームページで公開している大学もある。

(スポーツ庁「日本版NCAA(仮称)設立準備に伴う質問票」調査結果(2018年10月実施、69大学)

テーマ

【学業充実】学修機会確保③ 指導者ライセンス

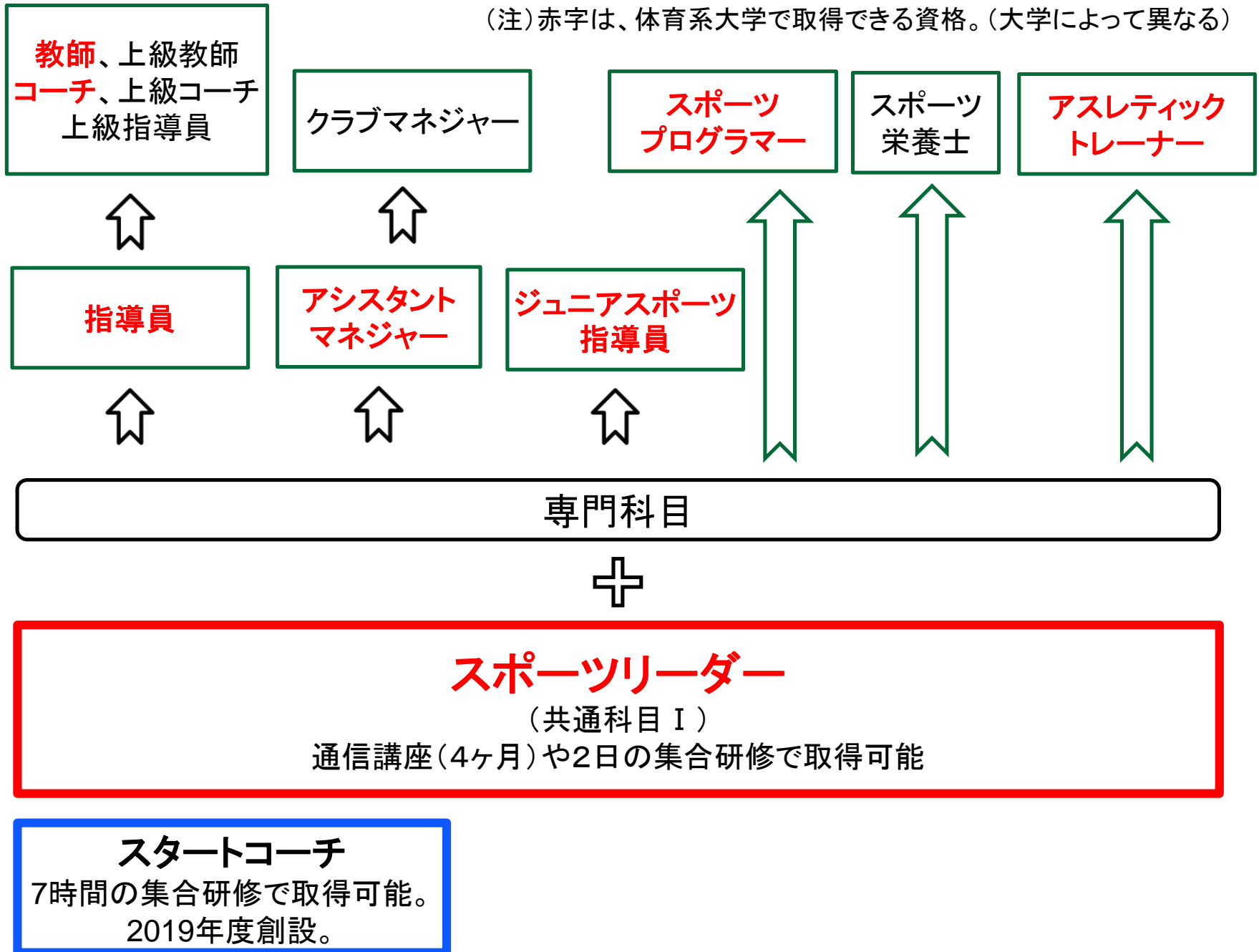
制度概要

学連の現状

	全日本学連		地方学連	
	ある	ない	ある	ない
ライセンス制度 (学連あるいはNF)	10	1	-	-
ライセンスを義務づけ	5	6	-	-
指導者研修会	4	7	5	15

(スポーツ庁「日本版NCAA(仮称)設立準備に伴う質問票」調査結果(2018年10月実施、12全日本・24地方学連回答))

(注)赤字は、体育系大学で取得できる資格。(大学によって異なる)



テーマ

【学業充実】学修機会確保③ 指導者ライセンス

制度概要

スポーツリーダーのカリキュラム

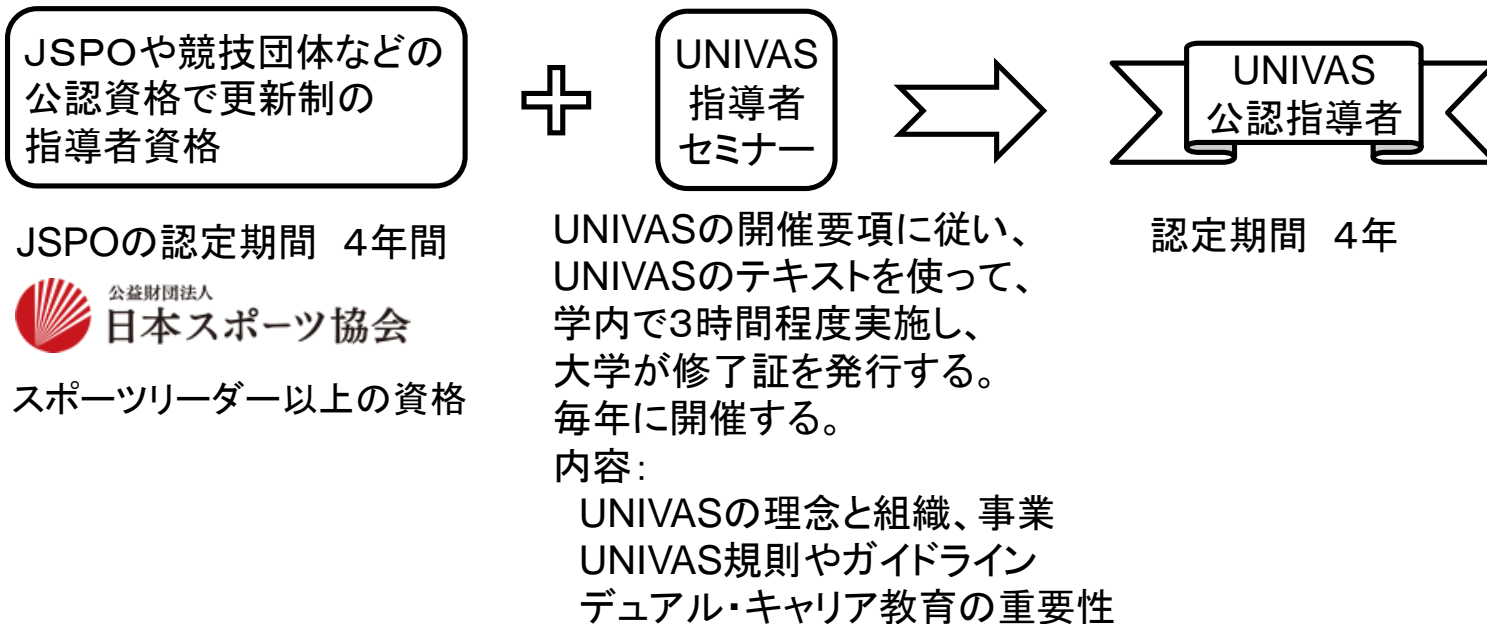
2020年度変更予定

- ・人間力
コーチングおよびコーチとは
スポーツの意義と価値
コーチに求められる知識とスキル
リーダーシップ
信頼関係構築におけるコミュニケーションの重要性
コーチの学びとセルフマネジメント
- ・現場・環境に応じたコーチング
コーチング環境の特徴
コーチングにおけるリスクマネジメント
ハイパフォーマンスアスリートに対するコーチング
スポーツ組織のマネジメント
アントラージュの一員としてコーチングを理解する
- ・医・科学的知識
安全なスポーツ環境の構築
スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系
体力のトレーニング
スキルのトレーニング
心のはたらきと向き合い方
スポーツと栄養
スポーツに関連する医学的知識
アンチ・ドーピング

テーマ

【学業充実】学修機会確保③ 指導者ライセンス

制度概要



テーマ

【学業充実】学修機会確保③ 指導者ライセンス

制度概要

アクションプラン

大学	2019	2020	2021	2022	2023
資格取得率	20%	30%	50%	70%	100%
HPで指導者のプロフィール公表	推奨		義務化		

学連	2019	2020	2021	2022	2023
大会出場要件としてUNIVAS公認指導者		全国大会義務化	地区大会義務化		すべての試合

UNIVAS非加盟大学には、指導者資格のみ義務化

会議全体を通じた質疑応答

今後のスケジュール

閉会
